



資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」
関東学院大学非常勤講師
三信化工株式会社

海老原誠治

えびはら せいじ

佐賀大学物理学科卒業、佐賀県立有田窯業大学校・
常勤講師を経る。

修学旅行、Mapで広げる食文化

ちはやぶる 竜田揚げ？

【ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川 からくれなるに 水くくるとは】

古典落語のネタにもなり、大ヒット漫画のタイトルにも引用されていますが、百人一首に選ばれた在原業平の和歌です。うたわれるのは紅葉に覆われる竜田川。衣の色合いの変化をこの情景に見立てたのが「竜田揚げ」だそうです。

さて、この竜田川はどこを流れるのでしょうか？ 場所や歴史とつながることで、食や文化のイメージは縦横に展開します。また、その逆も然りです。

例えば京都で見られる多くの菓子、その一部はポルトガルに由来し、キリスト教伝来とつながります。陶磁器に多く描かれる「唐草文様」は、シルクロードを経て伝わり、天平文化に浸透し、唐招提寺・東大寺など奈良時代の仏閣では、瓦に唐草文が見られます。

また絵皿に風物詩として多く描かれる「筏流し」は保津川が名所ですが、これを通じ、自然を利用した生活や、草木供養など生命・資源への敬意などを知ることができます。箸置きや結び昆布、水引に見る「結び」は、人と人のつながりを示しますが、結んだおみくじの形でも身近です。

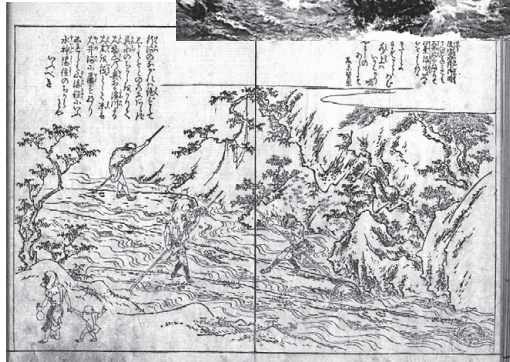


◀ 筏流しの絵皿

▶ 保津川の筏流し



▼ 清滝川の木流しの様子（大堰川・保津川上流、拾遺都名所図会.1787）



修学旅行の傾向

中学校における修学旅行の調査 [2014年度、(公財)日本修学旅行協会] を見ると、最も重点を置く活動は歴史学習43%、次に芸術鑑賞11%で、訪問先1・2位が京都・奈良で計37%です。高校でも歴史学習32%と最も重点が置かれ、訪問先3・6位が京都・奈良で計18%です。修学旅行で訪れる史跡、歴史という異世界に対する感動は

表 食文化Mapの内容

食・うつわ・文化	史跡・名勝	教科等との接点
金平糖, カステラ, 有平糖	京都のさまざまなお菓子	ポルトガルよりキリスト教など西洋文化伝来, 異文化の交流尊重
唐草文様の絵皿	奈良の仏閣の瓦, 西域伝来の工芸品	天平文化, 正倉院, シルクロード, 仏教伝来, 異文化との交流尊重, 『古寺巡礼』和辻哲郎, 『天平の甍』井上靖
筏流しの絵皿	嵐山, 保津川(大堰川)の筏流し	風物詩, 季節の表現, 水との関わり, 草木供養, 自然と資源への畏怖, いただきます
器の文様などで表現された水	枯山水	自然や水に対する畏敬, 抽象で表現された自然や美
川魚, 漁業, 川魚供養	宇治橋, 十三重石塔	命に対する畏敬, いただきます
稲作, 虫供養	虫供養塔	農作業, 昔の人の生活, 命を敬う, いただきます
結びの箸置き, 結び昆布, 水引	縁結び神社, おみくじの結び	人と人の縁, つながり

往々にあります。しかし、歴史が現在の日常生活を形作り、現在と過去がつながっていることは体感しにくいものです。訪問する史跡へ関わりある食・文化を重ね合わせると、日常生活へ橋渡しできそうです。

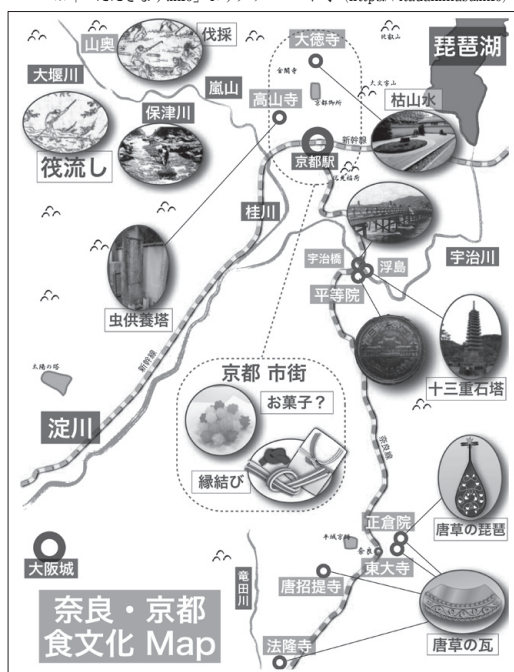
地図でつなぐ史跡と食文化

奈良・京都への修学旅行を控えた中学3年生に向け、食文化の授業を行いました。海外文化や自然・水・資源・食料・道具・命・人に対し、日本人は、どのような形で敬ったのか、器の文様・関連する史跡・食材を通して伝えます。ただし、修学旅行に連動できるよう、奈良・京都にちなんだ事例(上表)を多めに盛り込みました。また現在の日常生活や食文化につながる歴史の痕跡を探せるよう、その事例を配し食文化Map(右図)として添えます。実施した東京都日野市立日野第二中学校では、自然・社会・環境と文化形成の関係に気づく生徒や、修学旅行の自由行動を決める際にMapを参考にした生徒もいました。

奈良・京都に限らず、東京・大阪など他の旅行先でも、歴史文化をひもとけば展開できます。内容も、精進料理と寺院の関わり・郷土料理・郷土食材・おはぎと萩の名所・飾り切りとその題材・しつらいにおける移ろいの表現とそれに因む名所など、さ

図 食文化Map

※「いただきます.info」よりダウンロード可(<https://itadakimasu.info>)



◀東京都日野市立日野第二中学校3年生に行った食文化の授業

まざまな切り口で応用が利きそうです。

食文化を歴史とつなぎ、修学旅行と連携できれば、絶好の食育の機会ではないでしょうか。まさに現場に立ちながら、五感で感じる生きた教材の可能性を感じます。